

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)		コンビニ（経営者）	・11～12月とイベントが多く、商材もたくさん動くので良くなる。
		コンビニ（経営者）	・今後、おせち、ケーキ等、高単価の予約商材も出てくるため、客単価が上がリ、良くなる。
		百貨店（役員）	・今月の後半から増税の反動影響が減少しており、今後はプラスに転じると想定している。
		コンビニ（店長）	・今月は大雨や消費税増税、それに加えて台風19号の影響等で、イベントなどが中止となり、最悪の状況である。2～3か月先は、これらがなくなるので、良くなる。
		家電量販店（店長）	・消費税増税後の余波もなくなり、東京オリンピック需要が高まりそうである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・11月は台風19号の影響でキャンセルが出たため、前年比100%となった。12月以降の受注も前年同程度で推移している。
		都市型ホテル（営業）	・台風19号の影響等で厳しい状況である。年末年始への戦略として、社員全員での一斉営業で、厳しい現実に対する社員の意識改革を行い、全員営業の体制づくりを図ることで、やや良くなっていくのではないかと。
		通信会社（総務担当）	・商材単価が高くなり、以前よりもボーナス時期に販売が増える傾向にあるため、やや良くなる。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・この先、消費税増税の影響が出てくるのではないかと。客の話でも「徐々に増税が効いてくるのではないかと」という声が多い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・増税後の販売の動きに読めない部分がある。
		百貨店（営業担当）	・増税による大きな反動は現状余り見られないが、この先良くなる要素となると、ほとんど見当たらない。キャッシュレス還元は、今後の認知度向上次第とみている。
		百貨店（店長）	・天候不順の影響で、食料品など足元の消費の動きが鈍い。即位礼正殿の儀や延期したパレード等の慶事はあるものの、依然として景気停滞感はあるとみている。
		スーパー（商品部担当）	・当店はキャッシュレスポイント還元対応店舗のため、増税後のクレジット使用率が上昇している。増税後の客の買い回りの影響は受けるものの、大きくは変化がないとみている。
		コンビニ（経営者）	・消費税が上がったが、食料品がメインなので軽減税率適用で8%がほとんどである。また、キャッシュレスポイント還元で、客にとっては、食料品関係は増税後もお買い得感があるようで、食料品販売の維持はされている。ただ、これから、東京オリンピックの特需も終わり、そういったところから、少しずつ食料品にも影響が出てくるのではないかと感じており、変わらないかやや下降傾向である。
		コンビニ（経営者）	・消費税増税がもっと響くかと思ったが、影響は今のところ余りない。これからが心配である。天候に恵まれれば、売上は前年と同じくらいとみている。
		コンビニ（経営者）	・消費税増税前に買いためた物もなくなる頃でもあり、例年、年末年始は何かと動きがある。
		家電量販店（営業担当）	・悪いまま推移するとみているが、好調な商材も一部にはある。パソコンはOSソフトサポート終了のため、新規OSソフト関連の需要はある。
	乗用車販売店（経営者）	・全国規模の大規模小売店では、比較的来客数は安定しているようだが、消費税増税以後、特に、一般小売店や飲食店等は落ち込んでいる。これから年末に向けて、少しでも伸びてくれると良いが、変わらない。	
	乗用車販売店（販売担当）	・8～10月は良かったが、毎年11～12月も紅葉の時期や年末を迎え、販売や修理の入庫台数が駆け込みで増えるため、例年と変わらず良い状態で推移していく。	
	自動車備品販売店（経営者）	・当地域が若干、減衰化していることに対する施策がないので、人の動きや活気がない。しかし、今まで停滞気味だったので、多少は購買意欲が出てくるとすると、差し引いて、現状が変わらず続くという予測である。	
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注は堅調に推移してきているが、前年比では依然として減少傾向にある。	
	都市型ホテル（営業担当）	・消費税増税の影響や景気に関連して、宿泊への影響等も大きな減少はなかったため、2～3か月後も変わらない状況を維持できるとみている。	

都市型ホテル（副支配人）	・先行きは不透明な部分もあるが、年内は好調に推移できそうである。しかし、例年と比べて料飲の宴会獲得が伸び悩んでおり、宴会自体の人数も小規模になりつつある。
旅行代理店（所長）	・冬期シーズンに入るので、全体的に下り傾向ではあるが、今後の天候変動が懸念される。
タクシー（経営者）	・夜の動きが良くないので、この先も変わらない。
通信会社（局長）	・市場環境は変わらない。
ゴルフ場（総務担当）	・前年開催の大口コンペの未開催分や予約が土日祝日に集中して受けられないことがある。また、日が短くなってきたため、日没を考慮すると後半に予約を入れられない。平準化策が必要である。
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪レースの売上も、ほぼ同額で推移している。
設計事務所（所長）	・消費税増税に伴う税の優遇制度に関しては、しばらく様子見が続く。
住宅販売会社（経営者）	・消費税増税による家計の引締めで、全体的な販売量の動きは鈍いまま、年末まで継続する見込みである。不景気の兆しが見えてきている。
商店街（代表者）	・10月から発行されているプレミアム付商品券を利用する人が少ないようで、売上には期待できない。
百貨店（営業担当）	・軽減税率の導入があるものの、生活防衛意識の向上は不可避であり、更なる景況悪化が予想される。
衣料品専門店（統括）	・通常、秋は祭りがあるので当店の売上が増えると期待をする時期である。ただし、今年は毎週土日になると雨で、12～13日には台風19号が通過した。街の祭りが中止になった結果、大分売上が落ち込んでいる。これから暮れに向け、売上が伸びない時期になってしまったようである。
衣料品専門店（販売担当）	・今後3か月を展望すると、過去の年末年始とは違い、現状と同様に客の出足がすごく悪いという感覚を肌で感じている。このままだと、本当に店を続けていけるのかというくらいの危機感を持っている。
住関連専門店（店長）	・消費税増税の影響を受け、販売動向は下がる。
住関連専門店（仕入担当）	・災害復旧が進むと、改めて駆け込み後の反動減が顕在化するのではないかと。暖冬予測も出ており、楽観要素はない。
その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・消費マインドが相当落ち込んでいる。買物をする楽しさや商品開発に期待する。生産地が海外のため、いまだに大量生産体制となっており、これを是正していかなければならない。
一般レストラン（経営者）	・ごく近い地域で、台風による被害を甚大に受けており、当店の客にもその親族がいる。被災者やその関係者が多い地区の飲食店が、上向くとは思えない。
一般レストラン（経営者）	・冬のボーナスやクリスマスなど良い要素はあるものの、先行きが不透明なため、良くなる雰囲気を感じられない。
一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・官公庁などで、忘年会自粛の動きがありそうである。
スナック（経営者）	・年末年始に向けて、多少は来店客が多くなると期待してはいるが、災害等により、前年並みには見込めないと考えている。
その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・具体的に何が悪くなったというよりは、国際情勢や高齢化社会における社会保障制度の見直し、消費税増税などによる先行きの不透明感から、堅実ムードが強まり、消費の重しになっているようである。
旅行代理店（経営者）	・忘新年会を中止する会社が増加しているため、やや悪くなる。
タクシー運転手	・地方では、利用客が増える要素が見当たらない。
通信会社（社員）	・今後も、災害被害の影響が出そうである。
テーマパーク（職員）	・台風19号及び21号の影響により、一時的でも、全体的に旅行などの余暇行動が減少する恐れがあり、その影響は来春まで長引きそうである。
ゴルフ練習場（経営者）	・台風の影響で生鮮食品の価格が上がり、食料品以外には消費が回らない。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・台風19号の被害は、報道発表よりも広がっている。回復軌道に乗るには2～3か月は掛かり、年末に間に合えば良い程度である。
設計事務所（所長）	・災害後しばらくは悪くなるのではないかと。
x 乗用車販売店（統括）	・消費税増税の影響で悪くなる。

	x	通信会社（経営者）	・9月の駆け込み需要の反動は、やむを得ない。今月までは、増税前に処理できなかった分の仕事で忙しいが、新規の話が全くないので、先行きは不安である。
	x	通信会社（経営者）	・消費税増税の影響はまだ続く。このままでは、年末年始を越しても悪い状況は収まらない。
	x	美容室（経営者）	・不景気に追い討ちをかける自然風水害で、市の内外製造業、農業、酪農業が大打撃を受けている。収穫済みの米や農業機械が駄目になり、廃業する農家もある。どこにもぶつけることができない当事者の不満がうずまき、不安しかない。喫緊の問題は山積みである。
企業 動向 関連  (北関東)		-	-
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・動きが活発になり、期待しているところである。
		建設業（総務担当）	・災害復旧工事の発注が見込めるので、受注に期待ができる。
		不動産業（経営者）	・被害からの復旧工事が進むことにより、入居率の上昇が見込める。また、冬が近づき空調工事などの受注が増える可能性もある。
		その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	・現況の商談件数や受注量から推測すると、収益の増加が見込める。
		化学工業（経営者）	・価格が上向き気配はなく、良くなる材料が見つからない。
		金属製品製造業（経営者）	・昇降機部品の受注は7月をピークに10～12月は10～20%減の予定である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・更なる仕事の落ち込み情報はないものの、上向き見込みもなく、低迷状態で変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今までの推移と今後の受注をみると、当社はほぼ前年並みに推移していく。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・13社ほど取引先があるが、この数か月、忙しい会社、暇な会社、普通の会社と様々ある。今後も変わらずに推移し、競争相手もいろいろあるが、悪くはならない。
		その他製造業 [消防用品]（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
		建設業（開発担当）	・現政権の影響で、公共工事は順調に推移しており大変有り難い。ただ、発注者が総合評価方式で発注するので、地方でも大手数社しか受注できず、中小建設業者が、公共工事を元請として受注することは大変難しくなっている。下請でしか受注できないため、経営が厳しくなっている。また、建設業者は、大変な高齢化になっている。10月だけを見ても、日本は台風や大雨の影響で、災害を受けている。被災された方々には、お見舞い申し上げます。今後も天災が心配である。
		輸送業（営業担当）	・年末に向かい、暖房器具のヒーター、こたつ、エアコン等は前年並みの物量を確保できそうである。しかし、そのほかに物量が増える材料は現状ない。
		広告代理店（営業担当）	・年末年始商戦の時期ではあるが、宣伝広告出稿予定が、前年より減少している。予算削減もあるが、宣伝効果が薄れてきている状況もあり、消費者の行動が読めない。
		司法書士	・2～3か月先に良くなるような相談や依頼が来ていないので、なかなか浮上することはなく、変わらない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・消費税増税による値上げが影響している。
		通信業（経営者）	・消費税増税と自然災害の影響が出そうである。
		不動産業（管理担当）	・他の取引先からも「管理委託業務を見直したい」と相談を受けており、売上は減少する見込みである。新規取引先を開拓中だが、今のところ、減少予定分以上の売上にはならない見通しである。
		経営コンサルタント	・台風19号や大雨の被災地、被災者が広範に渡っているため、復興のスピードにかかっている。当面は、復興需要によって多方面の生産活動が抑えられ、地域経済の減速が心配される。
		社会保険労務士	・春頃は、年内には景気が良くなるという話も聞いていたが、今はそうした話は出てこない。現状が続くとみている。
	x	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の生産動向に、増産などの計画がみられない。
雇用 関連		-	-
		-	-

(北関東)	人材派遣会社（経営者）	・消費者は消費税が10%になってから食品、医療費等も控えているようである。ただ、10月は体育祭や催物等で、食材、食料品、飲料等関係は伸びたようである。今後は行楽需要に期待をするところだが、連続した台風の影響は観光地や交通手段にも出てきているので、年内は影響が続く。
	人材派遣会社（経営者）	・人がいなくて、仕事にならない。
	人材派遣会社（社員）	・現時点で大きな変動要因がなく、来年度の労働者派遣法改正についても、まだ派遣先の動きがないため、変わらない。
	人材派遣会社（管理担当）	・自動車関連の部品製造企業の生産計画が低迷している。
	職業安定所（職員）	・新規求人数が3か月前に比べ10%程度減少している。産業別では、宿泊、飲食サービスが大幅に減少し、製造業では9%程度減少している。消費税率引上げや米中の関係悪化の影響により、求人を手控えたことが理由と思われる。
	職業安定所（職員）	・製造業を中心に求人数が減少している。「夏頃から受注が減った」との話も耳にし、休業させようかといった動きもある。台風19号の影響等もあるため、景気は悪くなる。
	職業安定所（職員）	・消費税増税により、今後どのような影響があるか、増税後間もないため、今後も動向を注視していく必要がある。
x	-	-